

遊びながら 学びながら
ときめき発見！

*** 本号のラインナップ ***

まちの遊学人

人生経験豊かなシニアだからできる
日本語ボランティア

◆仙部 孝一 さん

低農薬栽培を楽しむ

～食の健康を追及～

◆横井 秀子 さん

サークル紹介

俳句を作って楽しむ

◆牧俳句会

地域に根ざす少年野球

◆内牧少年野球クラブ

生涯学習事業レポート

◆親子工作教室
(豊春地区公民館)

◆新緑の内牧散歩
(武里地区公民館)

教育センターのギャラリーを 紹介します!!

ミニギャラリー



マイギャラリー



教育センターの1階の学習情報サロンの中にあるミニギャラリーには、絵画・書・工芸・写真など、市民のみなさんの作品が展示できます。展示期間は15日間以内で、使用料金は無料です。

【申込み・お問合せ】

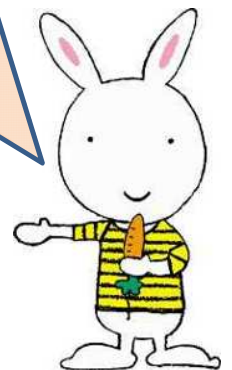
春日部市視聴覚センター

住所: 春日部市粕壁東3-2-15

電話: 048-763-2425

教育センターの2階の視聴覚ホール付近にあるマイギャラリーは、市内の・小中・義務教育学校の児童・生徒の作品を展示しています。

1校40日間程度の期間で開催しています。



まちの遊学人

人生経験豊かなシニアだから
できる日本語ボランティア

仙部 孝一さん(武里南地区)



武里大枝公民館にて

仙部さんが教室を立ち上げたきっかけは、2014年ミャンマーから4人家族が難民として日本にやって来たことです。

最初は、難民の日本語学習、生活面での支援をしていました。親御さんが小学校の面談をするようになる、問題がでてきました。それは、日本語を話すことが出来ないことです。

そこで、春日部市の日本語教室が、武里に外国人のために日本語教室を開くことにしました。今では10もの教室を開いています。

武里日本語教室、幼児英会話教室、ベトナム語教室、英会話クラス(初級・初中級・上級)、小学生英会話クラス、フランス語教室、トルコ語教室、シャインカービング教室武里、その他に外国料理教室も開いています。

す。

最初は、外国人の方への日本語指導を中心に行っていました。しかし、外国人の方は、英語が話せます。フランス語、ベトナム語、外国料理が出来ることで、日本語教室の生徒が、今度は指導する側になって活躍できる場として、様々な教室が増えました。

現在、活動している上での課題は、日本語が上手でないために良い仕事が出来ないことです。

外国人の人たちが、もっと日本語が勉強できるように、お近くにお住まいの外国人の方に、この教室を知らせて欲しいです。

また、日本人の方でも、日本語教育指導、外国料理のスタッフを歓迎しています。スタッフの多くは、人生経験が豊富なシニアの方達です。

武里大枝公民館で日曜日に教室を開いているので、見学を兼ねて、声をかけていただければ幸いです。



外国人とスタッフが1対1で日本語を学ぶ

低農薬栽培を楽しむ
食の健康を追及

横井 秀子さん(庄和地区)



イチゴ畝の中で

横井秀子さんは、庄和地区西宝珠花で長年帽子の製造販売に携わっていましたが、健康問題で食に強い関心を持ち、7年前から30坪の畑で「食育」にこだわった「低農薬栽培」に挑戦しています。

ここ西宝珠花は「日本一の大風」で有名なところで、毎年5月3日と5日には、「春日部大風あげ祭り」が開催されます。

広い畑の雑草処理は、全面にビニールシートを敷き太陽光で根っこまで枯らしてしまい、更に病害虫対策にも効果があります。このような作業は、薬剤での処理が一般的ですが、横井さんは薬剤を使わない手間の掛かる方法でこだわりの野菜作りをしています。

写真「ただいま雑草処理中!!」は、9月13日に取材に伺った時の風景

です。気温32℃で、ビニールの下は50℃以上になります。

肥料にも驚くようなこだわりがあります。中山競馬場から「馬糞」を調達し、米糠、もみ殻などを加え、4~5ヶ月発酵(ぼかし肥料)させてから使います。水加減、温度管理は試行錯誤の連続で、これを楽しむことが好きだそうです。栄養価の高いものを食べている競馬ウマの「馬糞」は、最高の有機肥料になります。

コスト(運搬費)と労力(発酵作業)は多大ですが、これしかない笑顔で話していました。

「玉ネギやトマト、スイカ、ジャガイモ、イチゴなど四季折々の野菜と果物10数種を『一番いいものを安全でおいしく、皆で食べる』にこだわり、畑作業に楽しさと面白さを加え、「スパ(費用対効果)ではなく、アイデアで農薬の悪影響を除く低農薬栽培を、これからも追及していきます」と結ばれました。



ただいま雑草処理中!!

サークル紹介

俳句を作って楽しむ

牧俳句会(粕壁地区)



和気あいあいの句会

牧俳句会は、俳句を趣味、又は生涯学習の一環として実作し、勉強する同好の人々のクラブです。毎月第1金曜日の9時30分から、粕壁南公民館(コミュニティセンター)で活動しています。会員は現在10数名で、代表者は荒井亨さんです。会の発足は平成4年と古く、創立者の言葉「俳句の本質は和のこころ」を大切に受け継いでいます。自然に趣をおき、互いに交流を深めながら、俳句作りを楽しんでいます。

今日は春日部八幡神社吟行の日です。実景で目に触れた風物を写真的に作句します。11月の少し肌寒い朝、いまにも雨が降りそうですが、荒井さんは「作句には絶好の天気」と張り切ります。会員は神社のあちこちに散らばり、散策しながら作句に集中しています。

その後公民館に移動し、円卓を围着って和気あいあいの句会です。

まず、一人4句ずつ(合計48句)を収めたコピーを見て、各自の評価(選句6句、内特選1句)を行います。次にその結果が集計され、意見交換(議論、質問、意見、感動)が始まります。作品を何点か紹介します。

富士塚の十一月の空低し
稲荷旗長き参道冬に入る
火伏札あれば買いたし冬に入る
木の実落つ隠れ社の荒階段
山茶花やいつもおんなじ願い事

いかがでしょうか、一句作ってみたいと思いませんか。牧俳句会はただいま新人を募集しています。しばらくの間は誰からも選ばれないかもしれませんが、でも、初めて選ばれた時のよさ、自分の表現を認めてもらえた嬉しさは、何ものにも代えがたいです。3月7日に粕壁南公民館主催の「コミセン茶屋」にて、俳句の講習会があります。ぜひお越しください。会員一同、お目にかかれる日を楽しみにしています。

連絡先：牧俳句会 荒井 亨
電話 048・735・1032



八幡神社での吟行

地域に根ざす少年野球

内牧少年野球クラブ(内牧地区)



ヤッター!!

今から40年前、農業地域の内牧地区に栄町住宅やマンションが建ち、団塊の世代前後の子育て中の人たちが住み、人口が増えました。

やがて子ども達の為に、3つの少年野球チームが誕生しました。近年の少子化でそれぞれチーム編成が難しくなり、3つのチームが1つになり活動を続けてきました。

今回紹介する内牧少年野球クラブは、35年程の歴史があります。代表の福岡菊夫さん(内牧在住、72才)は、「野球は手袋の1つにすぎず、子ども達にはクラブの規則を守り、感謝や互いの思いやりの心を育てることを目標としています。たとえ1人の子がエラーをしても、かばって、うまくプレー出来たらほめること、ほめるから伸びる、またじっと見守

ることも大切です。在籍数は23名で、昔参加していた子どもが結婚して親になり、その子どもが入団することもありますよ」と顔をほころばせます。

クラブは毎年正月、30kmの耐寒歩行訓練をしています。内容は、1年毎にコースを変え(柏、北千住、川越、古河の各駅集合) 往きは電車、帰りは役員が見守る中、子ども達は歩いて内牧まで戻ります。事情があれば休むことも出来ますが、参加した子ども達にとって忘れられない思い出となっています。

球技の他、クリスマス会、ゴミ拾い、夏休み最後に宿題をフォローするなど社会教育の場として取り組んでいます。

土・日曜日、内牧公園グラウンドにクラブの親子の声援が響きます。「地域と周りの方々の理解や助けがあって、楽しんで少年野球が続けられる」と話してくれました。



がんばったね!

生涯学習事業レポート

親子工作教室

豊春地区公民館



うまくできたね

夏休み中の7月30日(日)に、豊春地区公民館で「小学生の自由研究」として、親子工作教室を実施しました。対象者は小学生10名と保護者10名でした。小学生は1年生から3年生までの男女各5名ずつの参加でした。

工作のテーマは恐竜です。ボール紙に恐竜の形を写し、切り抜き、色を塗り、立体にするものです。恐竜は、ステゴザウルス、トリケラトプスとティラノザウルスの3種類があります。それぞれ自分の好みの恐竜の型をとり、ボール紙に型をのり付けし、紙を切り抜く作業をします。その後で色鉛筆で色を塗り、立体に組み立てます。時間は10時に始まり、11時半までかかりました。大変なことは、色を塗ること、ボール紙を形どおり切り抜くことでした。

新緑の内牧散歩

武里地区公民館



新緑の古隅田川を歩く

小学生1人につき父親か母親が付き添っているのですが、子どもの作業を見守りながら手伝っている親もいました。特に女の子の小学生は、ボール紙を恐竜の形どおりに切り抜くことが大変で、切り抜き作業を手伝っている父親もいました。

恐竜に色を塗るのは、恐竜の見本があり、それぞれの絵を見ながら色鉛筆を使い上手に描いていました。それぞれの完成した恐竜は、最後に皆で見せ合い、出来映えをたたえ合っていました。

10組の小学生と保護者の方々は、皆さん初めて作った恐竜づくりに満足した様子でした。終了後のアンケートの集計でも、「参加して良かった」「楽しかった」という評価が多くありました。



親子で楽しく

令和5年5月24日新緑が鮮やかな五月晴れの下、午前9時に最初の目的地の鷺香取神社に向かって北春日部駅西口を出発しました。参加者は、20名です。

鷺香取神社は市内内牧に鎮座し、境内の樹齢数百年の銀杏は草創の昔を偲ばせるものです。また、源頼朝公の庇護のもと発展し、今では地元公の氏神様としても崇められています。鷺、香取と2つの神社の名前がついているとても珍しい神社です。参拝し、ご利益を頂いて次の目的地の内牧公園を目指します。

内牧公園は、市内でも有数の広大な公園で、多くの人が訪れる人気スポットです。お花見やピクニック、歴史散策など色々なことが楽しめる公園です。縄文時代中頃の市内で一番古いイエの竪穴式住居跡、アスレ

チック広場など見どころはいっぱいです。しばらく散策を楽しみ、休憩後、内牧黒沼緑道を抜け、古隅田川緑道へ足を進めました。古隅田川緑道は、かつての古隅田川の流れの上に整備された緑道です。この下には約5千トンの水を蓄えることができますようになっています。

緑道の標識のもとに皆で集まり懐かしい少年、少女時代の童謡を推進員の佐野さんのハーモニカの演奏に合わせて歌いました。曲目は「朧月夜(おぼろづきよ)」と「ふるさと」です。この歌は唱歌として親しまれ、歌っているとなぜか喉が熱くなります。気を取り直して歩きますが、この辺になると少し疲れもたまってきました。緑道の景色を見ながら、疲れを癒しながら、最後の中央公民館を目指して頑張りました。

今回のウォーキングを通して人と人との絆を深め、「コミュニケーション」が図られました。

生涯学習市民推進員(地区別)(※は編集委員)

- 【粕壁】 市川実、藤田傑雄、泉 栄
- 【内牧】 三輪勝、高橋昌子
- 【豊春】 杉山充男、津布久常之、早坂隆*
- 【武里】 富岡一雄*、白川武文*、水島芳子
- 【幸松】 嶺井美智子、赤堀良孝
- 【豊野】 本田幸子*、高澤敏雄
- 【武里南】 山田農久*、佐野哲郎、角田範夫、八重桜通代
- 【庄和】 沖田隆一、栗岡一孝、内山厚一、清水希貞*